

補正予算を可決しました

がんばる地域交流・自立応援事業

令和元年度 補正予算の主な内容

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計	4,401万1千円	361億9,248万7千円

- **がんばる地域交流・自立応援事業** (地域活動交流拠点整備に伴う補助金の計上) 250万円
- **過年度補助金精算還付事業**
(平成30年度社会福祉医療費の県補助金の確定に伴う精算返還金の計上) 204万7千円
- **身体障害者(児)補装具費支給事業** (高額補装具の支給申請等に伴う扶助費の追加) 645万9千円
- **地域介護・福祉空間整備等施設整備事業** (国庫補助金の採択に伴う補助金の計上) 714万4千円
- **基幹水利施設ストックマネジメント事業** (県営事業費の増額に伴う負担金の追加) 250万円
- **水利施設整備事業** (県営事業費の増額に伴う負担金の追加) 225万円
- **農村地域防災減災事業** (県補助金の追加採択に伴う委託料の追加) 870万円
- **西播磨ふるさとの風景づくり整備事業** (県補助金の採択に伴う工事費の計上) 300万円
- **次世代教育推進事業** (ひょうご地域創生交付金の採択に伴う備品購入費の追加) 483万8千円

特別会計名	補正額	補正後の予算総額
介護保険事業特別会計	699万6千円	66億7,492万円

- **諸支出金** (平成30年度社会保険診療報酬支払基金交付金の精算に伴う補正)

Q 防災と福祉の連携促進モデル事業の指導員謝礼の内訳はどうか。また、指導員はどのような方を想定しているのか。

A 各自治会で開催されるケース会議において、自主防災組織が要援護者の個別支援計画を作成する際の指導員の謝礼である。指導員は、ケアマネジャーや相談支援専門員などで9名を見込んでいる。

農村地域防災減災事業

Q ため池の調査内容とはどのようなものか。

A ため池諸元調査業務、ため池マップ作成業務及びため池廃止設計業務の3つの事業である。昨年7月の豪雨で、広島を中心とした多くのため池決壊による被害を受け、国が補助事業として進めるものである。



ため池の安全確保を

次世代教育推進事業

Q プログラミング教育はどのように行うのか。

A ブロックで車など動くものを組み立て、コンピュータを使って自分の意図通りに動かすものである。この体験を通じて、論理的思考を育むとともに、強い人材を育てることが狙いである。

▶ 揖龍公平委員会委員の選任に同意

本市と揖保郡太子町及び関係事務組合で共同設置している揖龍公平委員会の委員3名のうち、本市選出の委員1名の任期が11月17日で満了となるため、引き続き同氏を選任することに同意しました。

福田 章子 氏(再任) 御津町苅屋

▶ 教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員4名のうち、1名の任期が11月17日で満了となるため、引き続き同氏を任命することに同意しました。

菅野 夏子 氏(再任) 新宮町新宮

▶ 定例会で審議した案件

市長提出案件

同意案件 2件

決算認定 14件

補正予算 2件

条例制定・改正 7件

契約の締結 1件

その他 1件

合計

27件